生産情報

農業振興課　小野　朋宣

○りんご作業（10／15～11／15）

りんごの作業では、中生種の収穫や晩生種の着色管理が最盛期となっています。

収穫が早すぎると貯蔵中のビターピットの発生が多くなり、遅すぎると油上がりや果肉の軟化の原因となります。地色の抜け具合を確認し適期収穫に努めましょう。

収穫時期に悩んだ場合には、農業振興課に相談いただければ調査に伺います。

収穫した果実は、鮮度保持のために、できる限りその日のうちにＪＡへの入庫をお願いします。また、りんごの盗難が多くなる時期となりますので、園地での野積みは絶対にやめましょう。

○積雪前の野ネズミ対策

例年、冬期の根雪の期間に野ネズミの食害に悩まれている方も多いかと思います。そこで今回は雪が降り始める前の耕種的防除を紹介します。

●野ネズミ被害を受けやすい園地の特徴としては、園地が汚れていることが挙げられます。特に野菜などの畑作物を作付している所では、それらの残さをきれいに片づけ清耕にするようにしましょう。また、草生、敷草等を行っている場合は、野ネズミが巣を作りやすいので、積雪前に幹の周囲を清耕にして野ネズミの巣を壊す又は、巣を作るのを防ぎましょう。

●樹幹に対する野ネズミの被害は、成木よりも若木に多いため、苗木及び若木に晩秋に地上１ｍ位の高さまで（積雪の多いところでは更に上まで）樹幹に金網、肥料等の空袋、合成樹脂のプロテクターなどの被覆材料を巻きつけましょう。

●効果的な殺そ剤の使用方法

殺そ剤は、園地が隣接する農家と共同で広範囲にわたって一斉に実施する事でより効果的に被害軽減が可能です。また、野ネズミの穴や通路穴に殺そ剤を投入する際には、土手や園内など雑草が茂っているところに重点的に行いましょう。

●忌避剤による対策

樹幹への処理の際、アンレスは10倍液を樹幹部に塗布または散布しましょう。

樹冠下への処理は、根雪前に樹冠下半径50㎝の範囲の落葉、雑草などをあらかじめ取り除いた後、ネマモール粒剤30（１樹あたり１００ｇ）を均一に散布し、表土とよく混和する。混和後には鎮圧を行います。

▼苗木を植えた園地や、例年野ネズミの被害に悩まされている方は積極的に耕種的防除を行い被害軽減に務めましょう。

※今後は、本格的に収穫作業が忙しくなります。朝晩は冷え込みますので体調管理にも十分注意しましょう。ハシゴや機械を使った作業を行う際は、機械点検や身の回りの安全を確認したうえで作業うを行い事故防止を心がけましょう。

ＪＡで取り扱っている野ネズミ対策資材

商品名	特　　徴	価格(税込)
ヤソヂオン（５ｇ×100袋入り）	積雪中に効果を発揮するため、ヤソヂオン等（防水小袋入り）を使用する。	670円
ＺＰ（１kg入り）	10ａあたり10~40か所に適宜配置する。	1,080円
粉末ラテミン（500ｇ入り）	穀粉、ドッグフードなどにまぶし、10ａあたり250～750ｇの割合で、ねずみ穴や通路に投入。または、適宜配置する。	1,112円
ネマモール（５kg入り）	（１樹あたり100ｇ）を均一に散布し、表土とよく混和する。混和後に鎮圧を行う。	4,039円

果実販売動向

販売課　米澤　松太

9月の果実動向は、ナシ・ブドウ・スイカについては高温が続いたことから引き合いが集中し、全体量も少ないことから堅調な販売となりました。桃については盆明け以降からの高値疲れと、ナシ・ブドウへの売り場の傾注により価格は一転して弱含みでの展開となりました。リンゴについては、高値でスタートした長野県産サンつがるが仲卸段階で在庫を抱え、買い気が鈍く産地移行が滞り、リンゴ全般に下げ基調での推移となりました。一方、輸出向けについても香港情勢が悪化していることから、昨年までのような引き合いはなく取引数量は伸び悩みました。

中生種の販売については、昨年、産地市場でのトキの高騰により未熟な食味の悪いものが出回り、年明けまで低迷した教訓から食味を重視するよう適期収穫を徹底したことにより、産地市場への出回りが中旬以降となりましたが、価格が下げ基調で推移したことから、国内外ともに流通量が飽和状態となり、厳しい販売となっています。今後ナシについては、引き続き数量減の高値基調で推移する見通しで、ブドウについては国内シフトからの数量増により、滞留在庫が出始めていることから価格は弱保合いでの展開が予想され、企画販売による売り場拡大が懸念されます。また、ミカンについては極早生がやや大玉傾向も雨の影響で食味が今一つであることから厳しい販売が予想され、柿については豊作基調のなか、生育遅れから全般に出遅れ傾向にあります。輸出向けについては、香港情勢の更なる悪化からしばらく回復する見通しがつかない状況にあり、当面、台湾向けへ集中する見通しです。当JAでは、サンつがる・きおうの選果販売は9月末までに順調に終了し、トキの輸出向けがピークとなっています。相場が今一つ回復傾向にありませんが、国内外ともに企画販売を徹底して取り組み、スマートフレッシュ処理を有効活用し有利販売に努めますので、今後ともご利用のほどよろしくお願いいたします。

別　表

品　種	サンつがる	ト　キ	きおう	その他	合　計
単　価　(円)	2,614	2,378	2,726	2,961	2,755
前　年　比　(%)	92	67	95	97	93
数　量（箱／10kg)	781,929	1,945	139,368	50,403	973,645
前　年　比　(%)	100	58	111	101	102

全農あおもりデータ・9／30

ＪＡ相馬村　職員募集

●**応募資格**　高卒以上、または令和２年３月卒業見込み者。
●**募集人数**　若干名（男女不問）
●職　　種　ＪＡ業務全般
●採用条件　①採用試験に合格した者とします。
②採用後は臨時職員（アルバイト）とし、のちに正職員採用制度により正職員として就業できます。
③採用は令和２年４月１日の予定です。
●応募書類　受験願書はＪＡ相馬村本所　総務課にあります。
●応募締切日　令和２年11月30日（土）
●試験日等　後日、応募者に直接お知らせいたします。
●試験内容　一般常識・作文・面接

直売所「林檎の森」

直売所　千葉 翔平

いつも直売所「林檎の森」をご利用いただき、ありがとうございます。

さて、現在店内には秋の味覚がたくさん並んでいます。中でもきのこの出荷が最盛期を迎え、栽培まいたけ・さもだしが多く並んでいます。特にさもだしは入荷直後、すぐに売り切れるほど大人気です。また、沢田地区で出荷されている清水森ナンバ、会員の方々が出荷されているナンバの葉も人気があり、大好評です。多く買い求めるお客様は、自家製のナンバ漬けを作るなど様々な調理用途に適しています。是非この機会に秋の旬をご賞味してみてはいかがでしょうか。

嶽きみの販売は、9月28日をもって大盛況に終える事が出来ました。多くのお客様に大好評でお買い上げいただき、感謝を申し上げます。出荷してくださった会員の方、良品な嶽きみの出荷をありがとうございました。来年も良品な嶽キミの出荷をよろしくお願いします。

りんごに関しては、早生ふじ「昂林・ほのか」、「トキ」、「シナノドルチェ」、「彩香」など珍しい品種を含み並んでおり。お客様からの注目を集めております。これからは、ふじ、王林、シナノゴールド、ジョナゴールドなどの多くの晩生種のりんごが旬を迎えるので、相馬の独特な寒暖差で甘味の増したりんごが多く出てくるので待ち遠しいです。

これからも直売所「林檎の森」を宜しくお願い板います。

会員の皆様へ

商品バーコードがないものが売り場で多く見られます。出荷の際、確認の徹底をお願いするとともに、りんごの出荷も適度な出荷量で鮮度のある商品のご提供をよろしくお願いします。そして、賞味期限などの確認をあわせてお願いし、商品ロスの低減に努めましょう。

青年部通信

事務局　小野 朋宣

5月27日に青年部はもち米の田植えをし、9月14日に稲刈りを行った。当日は悪天を心配していたが晴れが続きいいコンディションで行う事ができた。「稲の生育も去年と比べ良い状態でここまで来たのではないか」と部員らは見て喜びを共有していた。

稲刈りには畔波を回収する人、草を刈る人と、それぞれ分担して行われ、気温が高かった為汗を流しながらも協力して行っていた。コンバインで旋回しにくい為刈り取れない角の稲は部員らが鎌で刈り取った。

オペレーターを務めたのは、ライスロマンクラブにも所属している福島秀幸役員であり、「今年の田面は去年に比べ走りやすく刈取りしやすい」と言っていた。コンバインからフレコンに入れる際部員らは今年の出来秋に期待が膨らんでいた事から、緊張した趣で見ていた。全て刈取り、収量を確認したところ去年に比べかなり多い収量となった。

今年の出来秋を確認した柴田康平部長は「今年は生育が順調に進み、ノビエなどの雑草にも邪魔されなかった結果が良い収量に影響した。」と喜びを語った。

これから直売所での青年部特製もち米の販売へ向け、良い商品に最後までしていく事を部員一同で意気込んでいた。

収穫したもち米がコンバインからフレコンへ移される